

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	澤田 正二	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士標準テキストに沿って復習を行い、国家試験に向けて演習問題を解く。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験： 70 % 4. 授業態度： 10 % 出席率： 20 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント配布						
《授業外における学習方法》						
国家試験・第2種ME技術実力検定試験の過去問題の演習・復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験対策であり、積み重ねて頑張りましょう。						
授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	心電図を学ぶ	配布プリント	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマにおける 授業予定	各種、心電図の特徴をスライドを用いて説明する			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	循環器疾患を知る	臨床工学技士 標準テキス	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマにおける 授業予定	臨床工学技士標準テキストに沿って説明する			
第3回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	代行装置学(循環)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマにおける 授業予定	回路・血液ポンプ・人工肺など人工心肺領域を学ぶ			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	代行装置学(循環)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマにおける 授業予定	酸素開離曲線を学び臨床を例に考え方を伝える			
第5回	講義 演習形式	授業を通じての 到達目標	ESWLを学ぶ	配布プリント	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマにおける 授業予定	治療機器学・腎疾患の両面から説明する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	国家試験に必要な腎疾患を知る	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士の過去問を用いて問題を解く		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代行装置学(代謝)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	ダイアライザ・アフェレシスについて学ぶ 臨床における取り間違いを例に考える		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代行装置学(代謝)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	抗凝固から臨床での利用法を学ぶ		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸音・心音を学ぶ	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	実際の臨床に必要な解剖学から聴診器も含め学ぶ		
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代行装置学(呼吸)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	呼吸器のモードによる違いから合併症を学ぶ		
第11回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	治療機器学にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	心疾患関連治療機器(除細動器・ペースメーカーなど)を学ぶ		
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	化学関係問題の解答力を得る。	プリント配布	過去問題の演習課題
		各コマにおける授業予定	pH,結晶構造の醗類、化学式に関わる演習・解説の実施		
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	計測工学、生体計測関係の解答力を得る。	プリント配布	過去問題の演習課題
		各コマにおける授業予定	計測工学、生体計測関係の演習・解説の実施		
第14回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	電磁気学 電気系分野の解答力を得る。	プリント配布	過去問題の演習課題
		各コマにおける授業予定	電磁気学 クーロン力・金属の性質など電気系問題の演習・解説		
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	磁気力、電磁気力関係の解答力を得る。	プリント配布	過去問題の演習課題
		各コマにおける授業予定	電磁気学 磁気力、電磁気力関係の演習問題・解説の実施。		

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(夜間部)		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演 習
科 目 名	総合演習		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (4) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	澤田 正二	実務経験と その関連資格	臨床工学技士として28年西陣病院に勤務し、臨床工学科科長として、血液浄化、呼吸、医療機器管理、手術室業務に従事した他、医療安全管理室において医療機器安全管理責任者を兼務。認定医療機器管理臨床工学技士、透析技術認定師。			
《授業科目における学習内容》						
臨床工学技士標準テキストに沿って復習を行い、国家試験に向けて演習問題を解く。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験： 70 % 4. 授業態度： 10 % 出席率： 20 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
プリント配布						
《授業外における学習方法》						
国家試験・第2種ME技術実力検定試験の過去問題の演習・復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験対策であり、積み重ねて頑張りましょう。						
授業の 方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験に必要な心電図を知る	配布プリント	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマに おける 授業予定	臨床工学技士・看護師・検査技師の過去問を用いて問題を解く			
第 17 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	国家試験に必要な循環器疾患を知る	配布プリント	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマに おける 授業予定	臨床工学技士・検査技師の過去問を用いて問題を解く			
第 18 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	代行装置学(循環)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマに おける 授業予定	低体温・体外循環による影響などを学ぶ			
第 19 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	代行装置学(循環)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマに おける 授業予定	IABP・PCPSの補助循環を学ぶ			
第 20 回	講義 演習 形式	授業を 通じての 到達目標	腎疾患を知る	臨床工学技士 標準テキス	臨床工学技士 標準テキストを 事前に読む	
		各コマに おける 授業予定	臨床工学技士標準テキストに沿って説明する			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代行装置学(代謝)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	VA・水処理について学ぶ		
第22回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代行装置学(代謝)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	CAPD・腎移植について透析療法以外の選択治療を学ぶ		
第23回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代行装置学(代謝)にて過去問正解率100%を目指す	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	代謝領域に必要となる濃度の計算などを理解する		
第24回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸疾患を知る	臨床工学技士標準テキスト	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	拘束性・閉塞性から呼吸の原理につき学ぶ		
第25回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代行装置学(呼吸)にて過去問正解率100%を目指す①	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	スパイロメーター・カプノメーターなど計測機器を学ぶ		
第26回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	代行装置学(呼吸)にて過去問正解率100%を目指す②	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	スパイロメーター・カプノメーターなど計測機器を学ぶ		
第27回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	治療機器学にて過去問正解率100%を目指す①	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	電気メス・内視鏡など治療機器を学ぶ		
第28回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	治療機器学にて過去問正解率100%を目指す②	配布プリント	臨床工学技士標準テキストを事前に読む
		各コマにおける授業予定	電気メス・内視鏡など治療機器を学ぶ		
第29回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	電磁波関係の解答力を得る。	プリント配布	過去問題の演習課題
		各コマにおける授業予定	電磁波の基本的性質。波長分類、放射線関係の演習・解説の実施。		
第30回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	スネルの法則やドップラーなど波動の基本性質に関わる解答力を得る。	プリント配布	過去問題の演習課題
		各コマにおける授業予定	スネルの法則、レンズ、ドップラー関係の演習・解説の実施。		